



4月に開校する山口県立下関北高等学校の設置式が、山口県教育委員会教育長 浅原 司様のご臨席のもと行われました。新高校の開校は、来春ですが、新しい学校づくりは、今年からもう始まっています。新高校の1期生が作るのではなく、今、ここにいる皆さんが作り上げていくということです。なぜなら、今の北高生の姿が、新高校の新しい伝統を作っていくことにつながるからです。未来の後輩たちが、憧れるような姿を見せてください。

設置式での県教育委員会のご挨拶などを載せています。**本校の新たな歴史を刻む貴重な時期に、それを創造する一人として高校生活を送ることができる喜びと、未来の後輩たちや地域の将来への責任をエネルギーとして、気持ちを新たに学校生活を送りたいものです。**

#### 山口県教育委員会挨拶

山口県立下関北高等学校設置式に際し、一言御挨拶を申し上げます。

はじめに、下関北高等学校を設置するに当たり、来春の開校に向けた準備事務等のため、本日、豊北高等学校の校長、教頭、事務長及び教職員並びに響高等学校の教頭、教職員の方々に、兼務発令をしたことを御報告いたします。

さて、県教委では、社会の変化や生徒のニーズの多様化、少子化の進行等に対応し、中長期的な視点に立って、本県高校教育の質の確保・向上を図るため、平成27年3月に「第2期県立高校将来構想」を策定し、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備に取り組んでいるところです。

こうした中、下関北高等学校につきましても、学校や地域の関係者の御意見も伺いながら、響高等学校及び豊北高等学校両校の御尽力により、具体的な学校づくりについて検討を進め、本日ここに、設置式が挙行できますことは、誠に嬉しい限りです。

下関市の北部に位置する唯一の普通科高校となる本校は、大学進学をめざした習熟度別授業や、ハンブル・中国語の学習を中心とした国際教育の取組など、生徒の幅広い進路希望に応える両校の特色ある教育活動を継承し、さらに発展させながら、「地域と連携・協働する教育活動の推進により、郷土への愛着と誇りを育むとともに、未来社会に対応できる実践力を培う学校」として開校することとしており、生徒や保護者の皆様方、さらには地域の方々のご関心も高く、大きな期待が寄せられているところです。

開校まであと5か月となりましたが、両校の歴史と伝統を継承するとともに、本日の設置式を機に、県教委といたしましても、教職員の皆様と一丸となって、生徒が夢を育み、志をもって学ぶことができる学校づくりにまい進していく決意であります。

終わりになりましたが、開校に向けて、両校教職員の皆様の一層の御尽力をお願いし、御挨拶とさせていただきます。

平成29年11月1日

山口県教育委員会教育長 浅原 司

#### 山口県立下関北高等学校設置式 校長あいさつ

狗留孫の遙かなる霊峰、響灘の高き波音、角島を照らす光芒、油谷湾に寄せる新潮。

豊かな自然が、秋の深まりとともに穏やかな色彩を放ち、新しい学校の出発に彩りを添えてくれています。

山口県教育委員会教育長 浅原 司様のご臨席のもと、本日、ここに、山口県立下関北高等学校の設置式が挙行されますことは、この上ない喜びであります。

新高校の設置にあたり、御尽力、御支援、御指導くださいました関係者の皆様に、まずもって厚くお礼を申し上げます。

県立響高等学校と豊北高等学校が統合して来春4月に開校する「山口県立下関北高等学校」は、両校の歴史と伝統を継承しながらも、下関市の北部唯一の普通科高校として、生徒やその保護者、地域の皆様の期待を一身に背負い、また、その期待に応える学校にならなければなりません。

生徒の人格の完成や進路希望の実現、その基盤となる学びや学校生活の充実といった学校が本来有する教育的使命とともに、社会の有為の形成者を育成するという社会的使命を有する高校にあって、とりわけ、少子高齢化、人口減少が進むこの地に誕生する新高校では、学校が中心となってつくりだす地域社会、すなわち、スクール・コミュニティという新しい発想で学校づくりを進めていく必要があります。

このため、下関北高校では、幅広い学力や進路希望への対応や、学力向上をめざしたきめ細かな指導、さらには、新たに求められる学力に対応する教育システムを充実させながら、地域の皆様の声を学校運営に反映する仕組みを整え、地域と協働した様々な活動を展開していくこととしています。

こうした地域と連携した取組は、生徒の社会的職業的な自立を促し、豊かな心を育むとともに、下関北高校を地域に存在感のあるかけがえのない高校とすることでしょう。

桜の花が咲くころ、新しい制服に身を包み、希望に胸を膨らませ、入学してくる下関北高校第1期生の期待、地域の期待にしっかりと応えることができるよう、教職員、在校生徒、一丸となって準備を進め、4月には新しい力を得て、新しい高校の、新しい歴史を拓いてまいることをお誓いし、また、関係者の皆様には、引き続き温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

平成29年11月1日

山口県立下関北高等学校 校長 竹村和之

# 下関北高の設置式

## 豊北と響統合 来年度に開校



開校準備室の札を設置する竹村和之校長（中央）、清水広介校長（右）と浅原司県教育長（左）＝1日、下関市

下関市豊北町灌部の豊北 8 年度に豊北高内に開校する。高校（竹村和之校長、14 人）と下関北高の設置式が 1 1 人と同市豊浦町小串の曰、豊北高であり、両校の響高校（清水広介校長、2 校長を教職員と県教育委員 16 人）が統合して 201 一会の関係者 25 人が出席し

た。浅原司県教育長が竹村校長に開校準備室の札を手渡し、竹村、清水両校長が玄関に設置した。浅原教育長が「開校まであと 5 カ月。設置式を機に県教委としても、教職員と一丸となって生徒が夢を育み、志を持って学ぶことができる学校づくりにまい進する」、竹村校長は「両校の歴史と伝統を継承しながら、下関市の北部唯一の普通科高校として生徒や保護者、地域の期待に応える学校にならなければ。地域と協働したさまざまな活動も展開してこく」と述べた。

設置式に先立ち、浅原教育長が竹村校長に下関北高校長（兼務）の辞令を交付した。豊北高は 1945 年に県立灌部女子農業学校として創立、響高は 48 年に県立下関女子高併設黒井分校として黒井中学校校内に設立された。

2017 年  
11 月 2 日  
山口新聞

## 母校の歴史に名を刻もう！

～山口県立下関北高等学校 校歌（歌詞）・校章の募集のお知らせ～

県教育委員会が、下関北高校の校歌（歌詞）・校章の募集を

始めました。応募規定等は、次のとおりです。（以下、山口県教育委員会発表資料から抜粋）

### ■応募規定（どちらか一方または両方に応募できます。）

校歌（歌詞）	校章
<ul style="list-style-type: none"> <li>○一番、二番、三番程度</li> <li>○応募点数制限なし</li> <li>○応募作品は自作未発表のもの</li> <li>○応募の際は、住所、氏名、年齢、電話番号を明記すること</li> <li>※ 作曲は専門家に依頼予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○彩色は黒一色</li> <li>○画材は自由</li> <li>○作品に簡単な説明をつけること</li> <li>○官製ハガキまたはハガキ大の用紙を使用</li> <li>○応募点数制限なし（ただし 1 枚につき 1 点）</li> <li>○他の商標を模倣していないこと</li> <li>○応募作品は自作未発表のもの</li> <li>○応募の際は、住所、氏名、年齢、電話番号を明記すること</li> </ul>
<p>作成上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇下関北高等学校で実施する教育の特色がイメージできること</li> <li>◇生徒の学習内容が感じられ、明るく希望を抱かせ、生徒にとって親しみやすいもの</li> <li>◇下関北高等学校が所在する地域の特色や歴史が感じられるもの</li> </ul>	

■応募資格 どなたでも応募できます。

■応募方法 生徒のみなさんは、直接事務室に提出してください。

■締切り 平成 29 年 12 月 4 日（月）

■発表等

- 校章は 1 月中旬に、校歌（歌詞）は 3 月中旬に発表を予定しています。
- 応募いただいた作品のうち、校歌、校章として、それぞれ 1 点を使用します。
- 使用の際、補作する場合があります。
- 応募作品は、お返ししません。
- 採用作品の著作権は、山口県教育委員会に帰属します。
- 採用作品の作成者には、通知するとともに、開校式で表彰します。

なお、謝礼金はありません。

響・豊北、両校の歴史と伝統や教育活動を継承し、地域と連携・協働する教育活動の推進により、郷土への愛着と誇りを育み、未来社会に対応できる実践力を培う高校の新たなスタートにふさわしい校歌（歌詞）・校章を考えて、応募してみましょう。

野球部の甲子園の勝利とともに、あなたの名前が校歌の作詞者として、全国に流れる日がくるでしょう。